

平成 19 年 4 月 1 日(日)から、和歌山県と和歌山地方気象台が共同で
土砂災害警戒情報の発表を開始します。

和歌山県には土石流やがけ崩れ等のおそれのある土砂災害危険箇所が約18,500箇所あり、過去幾度となく大きな土砂災害に見舞われています。

このような土砂災害による被害の軽減のため和歌山県と和歌山地方気象台が連携し、大雨によって土砂災害発生のおそれが高くなったときに、市町村長が避難勧告等を出す際の判断や県民の自主避難の目安となるよう、平成19年4月1日から共同で新たな防災情報である土砂災害警戒情報を発表します。

- ・ 対象とする発表地域 和歌山県全域
- ・ 発表単位 市町村
- ・ 対象とする土砂災害 大雨による「土石流」および「集中的に発生するがけ崩れ」です。なお、「集中的に発生するがけ崩れ」とは、一連の大雨により、ある一定範囲の複数箇所で発生するおそれがあるがけ崩れを指しています。

※ 技術的に予測が困難である地すべりや単独で発生するがけ崩れ等は発表対象とはしていません。

- ・ 土砂災害警戒情報文の内容 土砂災害警戒情報の内容は、文章と図を組み合わせたものです（別紙）。
土砂災害の危険度が高まった地域（警戒対象地域）
土砂災害の危険度が低くなった地域（警戒解除地域）
1 時間 30 ミリ以上の強い雨が降る範囲とその移動方向及び速さ

この情報は、和歌山県や和歌山地方気象台から市町村に伝達されるとともに、報道機関やインターネットを通じて広く県民への周知を図ります。

また、土砂災害警戒情報を補足する情報として土砂災害警戒判定分布図に加え、全国で初めて、連携案方式による土砂災害警戒避難判定図（スネークライン図）を和歌山県ホームページで提供します。



【参考】

これまでの土砂災害に関する情報は、県からホームページを通じて雨量観測局ごとの土砂災害危険度情報を市町村や県民へ、また、気象台からは大雨警報およびそれらを解説する気象情報として防災機関等へ提供するほか、報道機関を通じて県民への周知を図ってきました。今回の土砂災害警戒情報は、和歌山県と和歌山地方気象台がそれぞれ有する情報を交換し、共同で発表するものです。

なお、和歌山地方気象台は、土砂災害警戒情報の発表開始に合わせて、大雨警報の切り替え「重要変更」を発展的に解消し、今後、大雨による土砂災害への警戒の呼びかけは、「大雨警報」と「土砂災害警戒情報」によることとします。

【全国的な動き】

都道府県	運用開始年月日
鹿児島県	平成17年 9月 1日
沖縄県	平成18年 4月28日
島根県	平成18年 6月 1日
広島県・山形県・大阪府・長崎県	平成18年 9月 1日
宮崎県	平成18年 9月11日
岩手県・大分県・福岡県	平成19年 3月 1日

※ その他の都道府県でも準備が整い次第、開始する予定です。

県のホームページによる「土砂災害警戒避難判定図」の公表は全国初

和歌山県土砂災害警戒情報 第×号

平成△△年□月□日 □時□分

和歌山県 和歌山地方气象台 共同発表

市町村単位で発表

【警戒対象地域】

かつらぎ町 九度山町 高野町 橋本市

【警戒解除地域】

紀の川市 紀美野町 岩出市

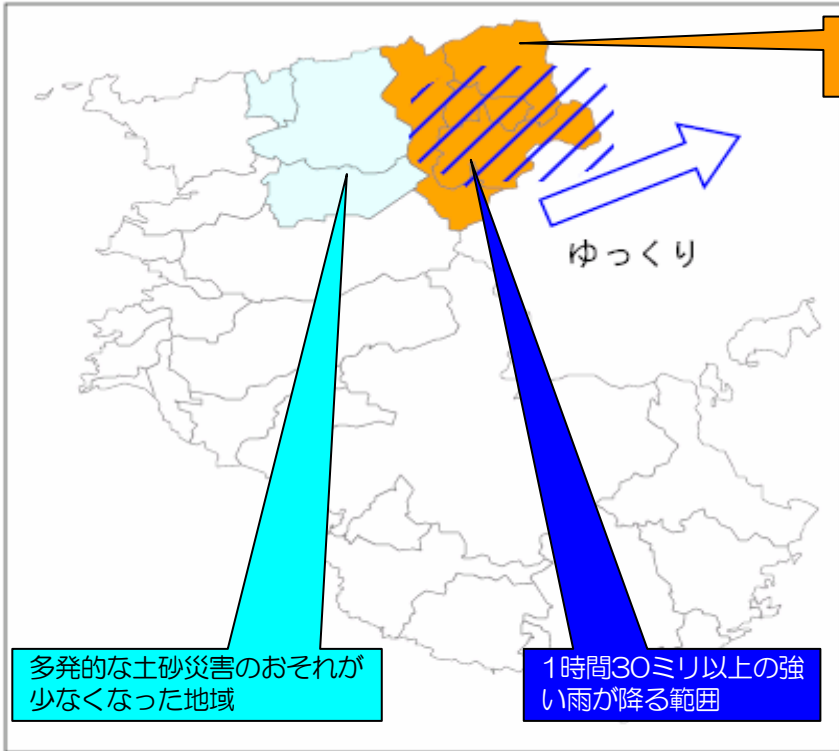
*印は、新たに警戒対象となった市町村を示します。

【警戒文】

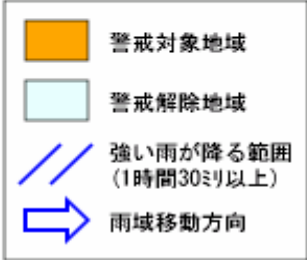
《一部警戒解除》

かつらぎ町、九度山町、高野町、橋本市では、大雨のため引き続き土砂災害の危険度が非常に高くなっています。土砂災害危険箇所及びその周辺では警戒を強めてください。警戒対象市町での今後3時間以内の最大1時間雨量は、多いところで60ミリです。紀の川市、紀美野町、岩出市では、多発的な土砂災害のおそれは少なくなりました。

今後2時間以内の土砂災害の危険度と3時間以内の降雨予測



土砂災害の危険度が高まった地域



多発的な土砂災害のおそれが少なくなった地域

1時間30ミリ以上の強い雨が降る範囲

問い合わせ先

073-441-3174 (和歌山県県土整備部河川・下水道局砂防課)
073-422-1328 (和歌山地方气象台技術課)